

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	東京近郊における建築と自動車の境界にあらわれる空間構成
Title(English)	
著者(和文)	吉村英孝
Author(English)	hidetaka yoshimura
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:乙第4106号, 授与年月日:2014年12月31日, 学位の種別:論文博士, 審査員:塚本 由晴,藤岡 洋保,安田 幸一,奥山 信一,山崎 鯛介,村田 涼
Citation(English)	Degree:, Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:乙第4106号, Conferred date:2014/12/31, Degree Type:Thesis doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

(論文博士)

論文要旨 (和文2000字程度)

(Summary)

報告番号	乙 第	号	氏 名	吉村 英孝
<p>(要 旨)</p> <p>本論文は「東京近郊における建築と自動車の境界にあらわれる空間構成」と題し、以下の6章から構成されている。</p> <p>第1章「序論」では、研究の目的、研究の資料と方法、従来の研究との関係、及び論文の構成と概要について述べている。本章では、自動車による都市空間の実践との対応が、現代の建築物に共有された条件となっていることの重要性を述べ、建築と自動車の境界にあらわれる空間構成を、自動車からの要請と建築物からの要請を均衡させるものとして論じる目的を述べている。さらに、都市空間における自動車の滞留の在り方に影響する、立地、施設の規模、法制度などを反映したいくつかの建築物用途を事例として、建築と自動車の境界にあらわれる空間構成の類型的特徴を明らかにする方法を述べている。また本論文に関連する既往研究や建築論に関する文献を比較、整理することから、本論文の独自性について述べている。</p> <p>第2章「自動車斜路をもつ建築の構成」では、東京都湾岸六区の幹線道路沿いにみられる自動車の滞留を立体的に建築物用途に組み込む施設を事例とし、その立体化によって派生した斜路が、建築物全体の構成に関わることに着目する。まず、斜路の形態を、敷地の区画規模と建築物の面積の間の、限定された領域に納めるための変形として検討する。次に、斜路と建築物用途との関わりを自動車の階と斜路の接続として検討する。さらに、それらの重ね合わせから斜路の配列と階の配列による構成類型を抽出し、比較する。その結果、斜路の形態の前提条件として、階と斜路の接続にもとづく統合関係があることを明らかにしている。また、構成類型の立地の分布を、埋立地との関わりから考察した。</p> <p>第3章「郊外型大規模商業施設の外部空間の構成」では、首都圏における大量の自動車の滞留を集約するショッピングセンターを事例とし、広大な駐車場と、そのために生じる屋外を歩行するための空間が、外部空間の構成に関わることに着目する。まず、自動車に関わる駐車空間と、歩行に関わる遊歩空間を壁面との関係で整理する。さらに、これらの要素の組み合わせから、大規模商業施設の外部空間の構成類型を抽出し、立地の分布と建設年の傾向とともに比較する。その結果、大規模商業施設における外部空間の構成が、中心地域と周縁地域とで異なる系譜的な発展をみせることを明らかにしている。</p> <p>第4章「郊外主要幹線道路における沿道建築物の構えと街並み」では、国道16号神奈川県内、小山～相模大野間におけるロードサイドの建築物を事例とし、その幹線道路に沿って線状に自動車の滞留が分散される、建築物の空間構成類型とその集合としての街並みに着目する。まず、建築物の配置を、建築物と駐車場による敷地間口の占有の在り方として整理した。次に、建築物における壁面の種類と分節、付加される要素の組み合わせから構えのタイプを抽出した。さらに、この構えのタイプに、配置を重ね合わせることで、沿道建物の構えの構成類型を抽出し、用途と建設年代、敷地間口幅とともに比較する。その結果、構成は同じであるが建設年代によって、敷地間口幅や用途が異なる建築物が、数を増減させることで形成される街並みを明らかにしている。</p> <p>第5章「自動車の取り扱いからみた住宅の構えと住宅地の街並み」では、奥沢4丁目の住宅地にみられる駐車場をもつ住宅を事例とし、面状に自動車が分散される、建築物の空間構成類型とその集合としての街並みに着目する。まず、街並みの連続立面を、隣地境界で分節した住宅の構えと、要素の配列が道路境界からの住宅壁面まで同じとなる間口単位を抽出した。次に、間口単位の組み合わせから住宅の構えの構成類型を抽出し、敷地間口幅と駐車用途の間口幅が類似するまとまりと、接道の方位による分布と配分の偏りを比較する。その結果、敷地間口幅によって取り得る空間構成が限定された建築物が、接道方位に偏りながら数を増減させる住宅地の街並みを明らかにした。</p> <p>第6章「建築と自動車の境界空間」では、各章における建築物用途を前提とした、建築と自動車の境界にあらわれる空間構成の類型的特徴について、第2章と第3章の比較から「立体化される自動車の空間」、第3章と第4章の比較から「道路から商業施設までの体験」、第4章と第5章の比較から「道路沿いに反復された建築による都市形態」を、建築と自動車の境界空間に固有の空間として体系化している。</p> <p>第7章「結論」では、第2章から第6章までの各章で得られた結果を本研究の結論として総括した。</p>				

備考：論文要旨は、和文2000字と英文300語を1部ずつ提出するか、もしくは英文800語を1部提出してください。

Note: Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1 copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).

(論文博士)

論 文 要 旨 (英 文)

(300語程度)

報告番号	乙 第	号	氏 名	吉村 英孝
<p>(要 旨)</p> <p>This paper is entitled "Spatial Composition of Thresholds Between Architecture and Automobiles in the Suburbs of Tokyo", and consists of the following 7 chapters:</p> <p>Chapter1-"Introduction" describes background, purpose, materials and methods of the research, relation to existing research, and composition and overview of the dissertation. This chapter describes thresholds between architecture and automobiles as practice of space with automobiles. This paper presents spatial composition under conflict between the demands of architecture and automobiles and clarifies the system of thresholds based on movement and retention of automobiles.</p> <p>Chapter2-"Morphology of the Building with Vehicle Ramps" focuses on the features of the ramps in facilities for production and distribution. As a result, in terms of the connections, floors and ramps are in a certain syntagmatic relation, which is a precondition for the forms of ramps.</p> <p>Chapter3-"Study on External Spatial Composition of Suburban Large Shopping Center" focuses on the modification of the parking and promenades. As a result, the composition of the outside space shows different types of genealogy and development between heart-land and rim-land.</p> <p>Chapter4-"Study on Streetscape and Building Frontage in Suburban Roadside Areas" focuses on the repetition of the building frontage types. As a result, each types of building frontage are similar, but land frontage and building types are related to the constructed generation.</p> <p>Chapter5-"Study on Streetscape and a House-front Viewed from Parking Layout" focuses on the repetition of the house-front types of the residential area. The relationship between limited composition of houses with parking and subdivided land is examined. The character of streetscape that consists of house-front types at a residential area in Tokyo is clarified.</p> <p>Chapter6-"Threshold between Architecture and Automobiles" focuses on common characteristics of space for automotive movement and retention in Chapter2-5. As a result, spatial systems of thresholds between architecture and automobiles relevant to social systems and phenomenon are clarified.</p> <p>Chapter7-"Conclusion" summarizes the results found in chapter 2 to 6.</p>				

備考：論文要旨は、和文2000字と英文300語を1部ずつ提出するか、もしくは英文800語を1部提出してください。

Note: Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).